

延岡市図書館の個別施設計画（案） 概要版

《対象施設》

	施設名	住所	延床面積 (m ²)	建築年度	構造	安全性評価	年間利用平均(人)	年間収支平均(円)	利用者1人当たりコスト(円)
1	カルチャープラザのべおか (図書館本館)	本小路39-1	8007	1997	RC	経過観察	349,958	▲142,682,085	408
	45,968						▲24,553,798	534	
2	図書館 北方分館	北方町川水流卯 1236-2	1510	2001	RC	経過観察	14,506	▲14,848,794	1,024
3	図書館 北浦分館	北浦町古江 1943-1	232	2012	W	支障なし	13,709	▲12,331,425	900
4	図書館 北川分館	北川町川内名 7250	415	1983	RC	経過観察	7,272	▲10,697,164	1,471

※安全性評価については、施設所管課職員の目視による簡易診断の結果を記載

「支障なし」： 劣化や気になる箇所はない

「経過観察」： 劣化等により気になる部分はあるが、明らかな危険性は感じない

「要相談」： 劣化しており、危険性を感じる箇所がある

《現状分析》

- ・安全性に不安がある施設はありませんが、経過観察が必要な箇所はあるため、適宜、施設の点検等を通じて、利用者の安全性を確保する必要があります。
- ・少子高齢化の影響等により、図書館の利用者数、貸出冊数については、北浦分館を除いて微減しており、一方で移動図書館の利用者数は増加している状況です。

《長期的な維持管理方針》

- ・図書館施設については、複合施設であるカルチャープラザのべおかを中心に、北方地区、北浦地区、北川地区にそれぞれ設置する分館と連携しながら、図書館サービスの提供を維持していくことを目標とします。

※本方針については、今後の人口や社会経済情勢の変化、国の施策等、また、施設の状態や利用状況などを踏まえ、必要に応じて適宜、見直しを行います。

《中期的な維持管理方針》

	施設名	中期的な維持管理方針(10年間)	
1	カルチャープラザのべおか	大規模改修	施設の長寿命化及び大規模改修時期について検討を行います。
2	図書館 北方分館	現状維持	適宜点検を行いながら、維持管理を行っていきます。
3	図書館 北浦分館	現状維持	適宜点検を行いながら、維持管理を行っていきます。
4	図書館 北川分館	現状維持	適宜点検を行いながら、維持管理を行っていきます。

延岡市屋内スポーツ施設の個別施設計画（案） 概要版

《対象施設》

	施設名	住所	延床面積 (㎡)	建築年度	構造	安全性評価	年間利用平均 (人)	年間収支 平均 (円)	利用者 1人当たり コスト(円)
1	勤労者体育センター	東浜砂町 611 番地 1	1104	1980	S	経過観察	30,821	▲7,438,595 (▲8,968,358)	241 (291)
2	市民体育館	大貫町 1 丁目 2894 番地	4729	1979	RC	経過観察	90,486	▲8,699,819	96
3	大武体育館	大武町 5337 番地	1059	1976	RC	要相談	19,046	▲6,075,304	319
4	東海体育館	川島町 834 番地	959	1975	S	要相談	2,609	▲2,389,253	916
5	北浦体育館	北浦町古江 1930 番地	1279	1976	RC	支障なし	7,350	▲1,175,295 (▲8,489,961)	160 (1,155)
6	北川体育館	北川町川内名 7330 番地	2947	1992	RC	支障なし	15,095	▲5,039,437	334
7	北方勤労者体育センター	北方町川水流卯 95 番地 1	1902	1982	RC	経過観察	24,955	▲6,138,795	246

※()については、工事請負費を含む

※安全性評価については、施設所管課職員の目視による簡易診断の結果を記載

「支障なし」： 劣化や気になる箇所はない

「経過観察」： 劣化等により気になる部分はあるが、明らかな危険性は感じない

「要相談」： 劣化しており、危険性を感じる箇所がある

《現状分析》

- ・大武体育館、東海体育館について、安全性に不安がある箇所が見受けられました。
- ・東海体育館については、全体的に老朽化しており、また、構造が鉄骨造であり、法定耐用年数である 34 年を既に経過していることから、今後何らかの対応が必要と判断されています。
- ・利用者 1 人当たりのコストについては、利用者数の少ない東海体育館が最も高く、利用者数の多い市民体育館は最も低くなっています。

《長期的な維持管理方針》

- ・市内中心部においては、利用者数の多い勤労者体育センター、市民体育館（県立体育館整備予定）を中心としながら、北方地区、北浦地区、北川地区にそれぞれ 1 か所を維持していくことを目標とします。
- ・市民体育館については、現在の敷地に県立体育館を整備するため、今後 10 年以内に解体を行うこととしており、現在の利用者のニーズに対応できるよう県と協議をしていくこととします。
- ・安全性が「要相談」である施設のうち、利用者数の多い大武体育館については、地域での活用方法など様々な視点から今後のあり方について、十分に検討を行うこととし、利用者数の少ない東海体育館については、利用者の安全を確保しながら、今後 10 年以内に廃止・解体を行うこととします。そのため、東海体育館の利用者のニーズについては、他の体育館及び整備予定である県立体育館により対応できるよう努めます。

※本方針については、今後の人口や社会経済情勢の変化、国の施策等、また、施設の状態や利用状況などを踏まえ、必要に応じて適宜、見直しを行います。

《中期的な維持管理方針》

施設名		中期的な維持管理方針(10年間)	
1	勤労者体育センター	大規模改修	耐震診断及び、必要に応じた耐震補強工事の実施について検討を行います。また、施設の長寿命化及び大規模改修時期について検討を行います。
2	市民体育館	解体 (県立体育館整備)	県立体育館整備に併せて、10年以内に廃止・解体を行うこととします。
3	大武体育館	修繕	施設を維持していくために必要な修繕を適宜行うとともに、利用者のニーズや地域での活用方法など様々な視点から施設の活用について検討を行います。
4	東海体育館	解体	利用者の安全性を確保するとともに、他の体育館及び整備予定である県立体育館により現在の利用者のニーズへの対応状況を踏まえながら、10年以内に廃止・解体を行うこととします。
5	北浦体育館	現状維持	H30年度に屋根の全面改修工事を行いました。今後は、耐震診断及び、必要に応じた耐震補強工事の実施について検討を行います。
6	北川体育館	現状維持	施設の長寿命化及び大規模改修時期について検討を行います。
7	北方勤労者体育センター	現状維持	施設の長寿命化及び大規模改修時期について検討を行います。